

ZENRIN

証券コード：9474

2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年11月13日

株式会社 **ゼンリン**
Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

戸島 由美子

1. 2020年3月期 第2四半期決算概要
2. 2020年3月期 通期業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2020年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高
- 5) キャッシュ・フロー推移

1-1) 決算概要

2020年3月期 第2四半期決算のポイント

前年同期比<減収減益>

■マーケティングソリューション事業の減収、オートモーティブ事業の前期発生した受託データ販売の反動減等により、売上高、利益共に減少

業績予想比<減収減益>

■マーケティングソリューション事業の減収、オートモーティブ事業のナビ関連受託開発が一部後ろ倒しに

(金額単位:百万円)

	2019年3月期 Q2実績	2020年3月期 Q2業績予想 (4/26)	2020年3月期 Q2修正予想 (10/25)	2020年3月期 Q2実績 (10/29)	前年同期比	増減率 (%)	業績予想比		修正予想比	
							(4/26)	乖離率 (%)	(10/25)	乖離率 (%)
売上高	28,168	27,800	26,800	26,803	△1,364	△4.8	△996	△3.6	3	0.0
営業費用	27,429	27,800	27,130	27,137	△291	△1.1	△662	△2.4	7	0.0
営業利益	738	0	△330	△334	△1,073	—	△334	—	△4	—
営業利益率	2.6%	—	△1.2%	△1.2%	△3.8pt		△1.2pt		△0.0pt	
経常利益	977	0	△60	△65	△1,043	—	△65	—	△5	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	587	0	△220	△224	△811	—	△224	—	△4	—

※10/25公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-2) 売上高・利益の推移

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属 する四半期純利益

前年同期比

1,364減少 (△4.8%)

1,073悪化 (-)

1,043悪化 (-)

811悪化 (-)

業績予想比
(4/26公表)

996減少 (△3.6%)

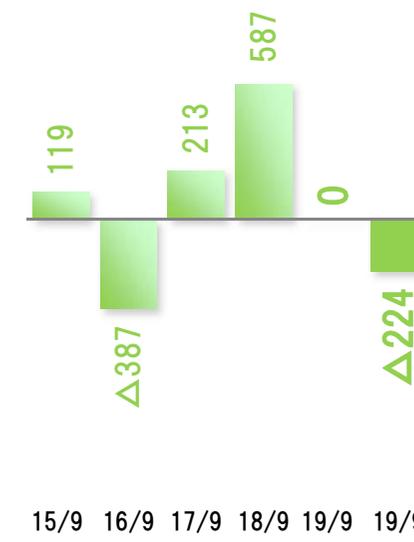
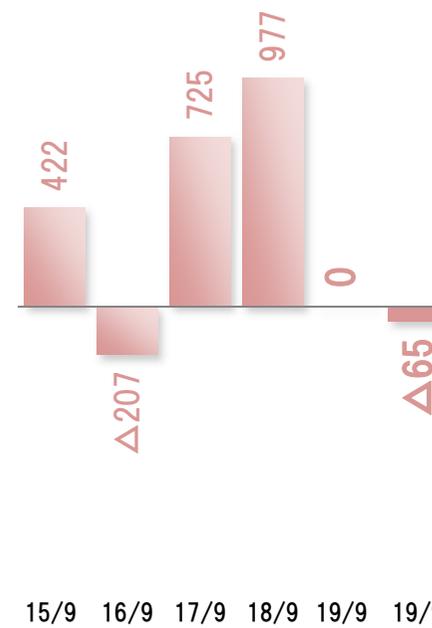
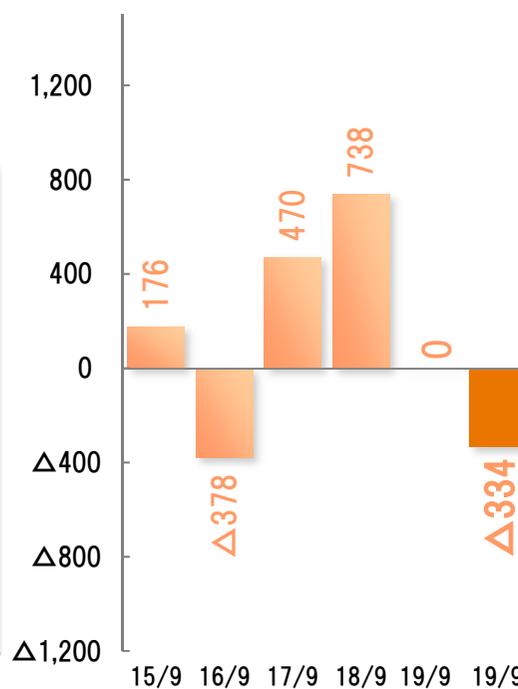
334悪化 (-)

65悪化 (-)

224悪化 (-)



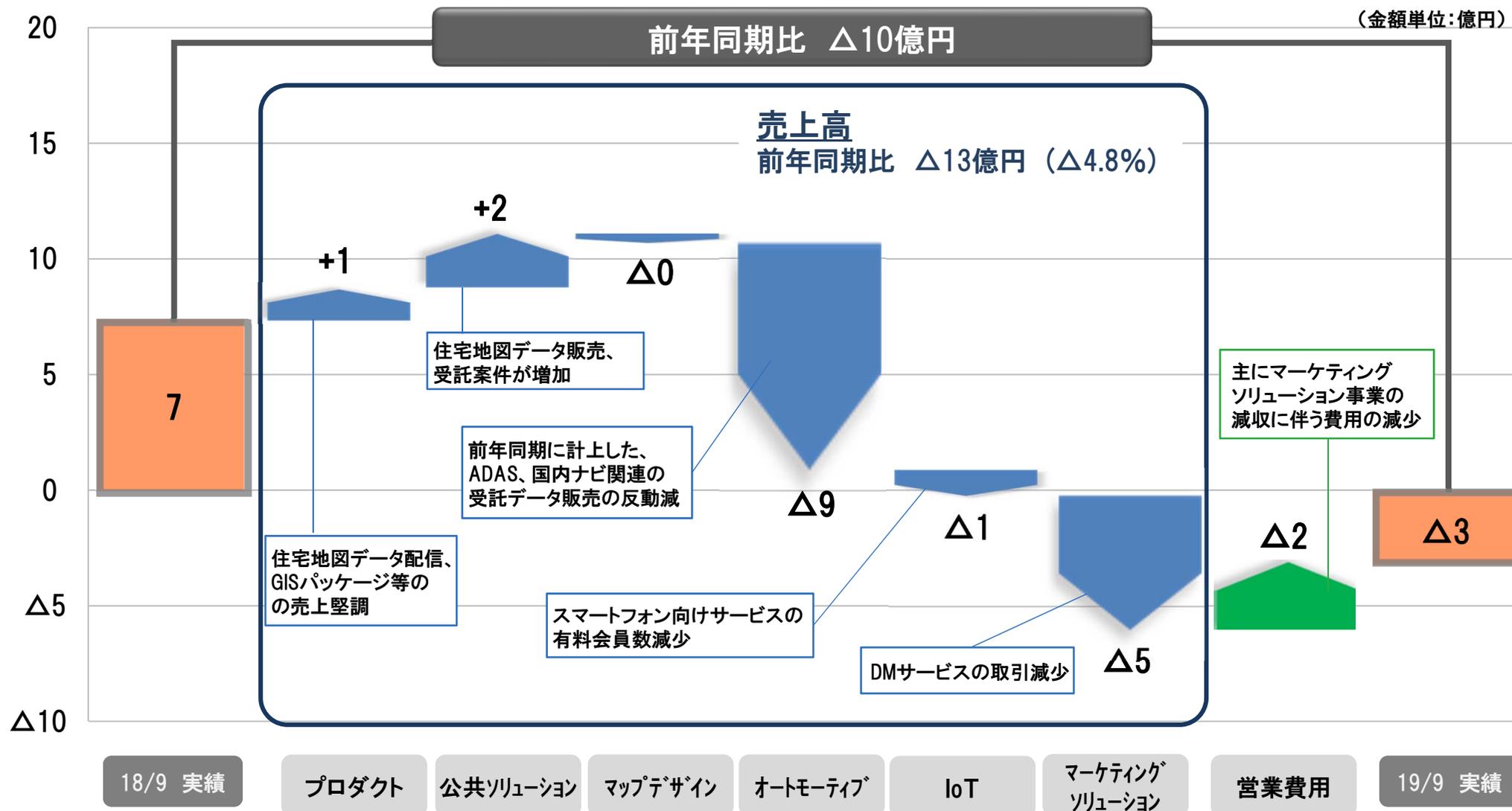
5期ぶり減収



前期利益 → 損失

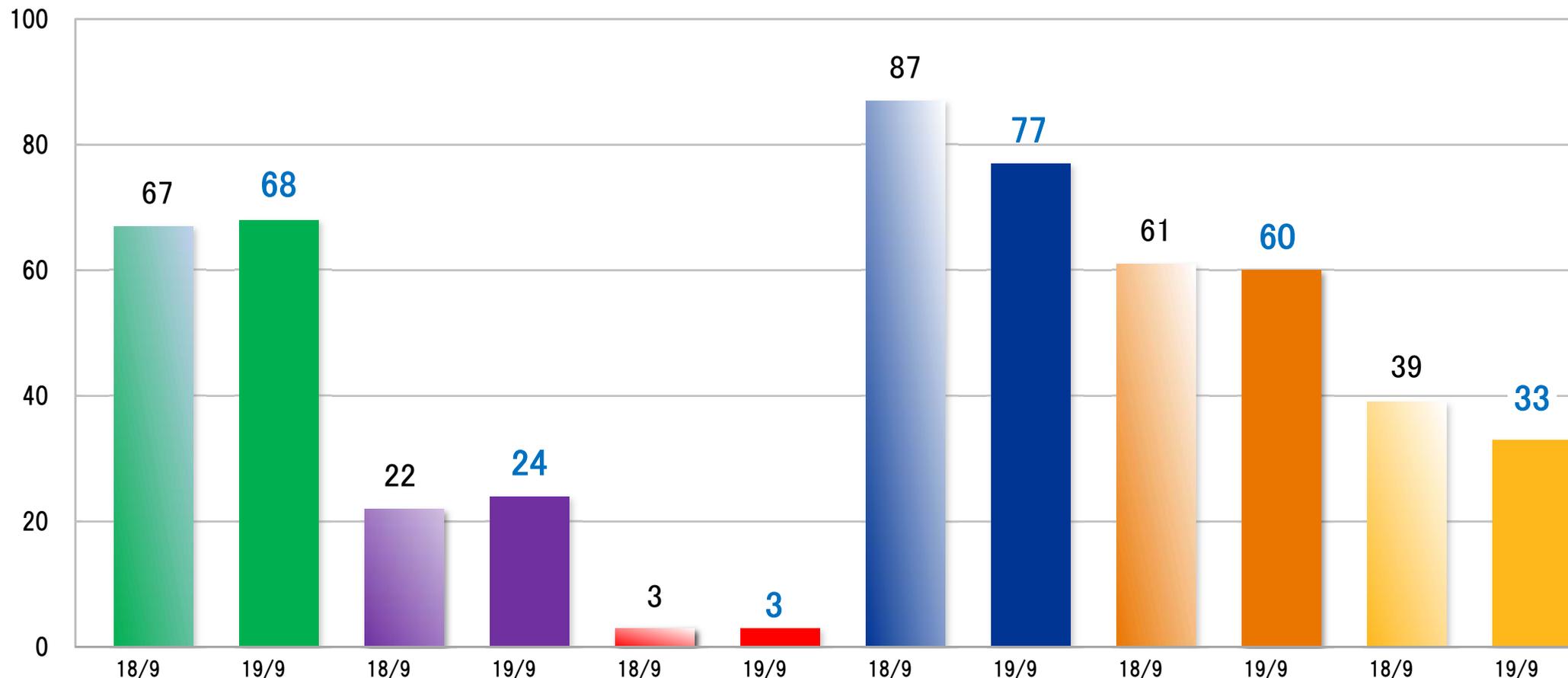
※10/25公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-3) 営業利益増減要因



1-4) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

(金額単位:億円)



前年同期比

プロダクト

+1
(+2.1%)

公共ソリューション

+2
(+9.8%)

マップデザイン

△0
(△9.6%)

オートモーティブ

△9
(△11.2%)

IoT

△1
(△2.0%)

マーケティングソリューション

△5
(△15.0%)

1-5) キャッシュ・フロー推移

営業CF

前年同期比

459収入増加

投資CF

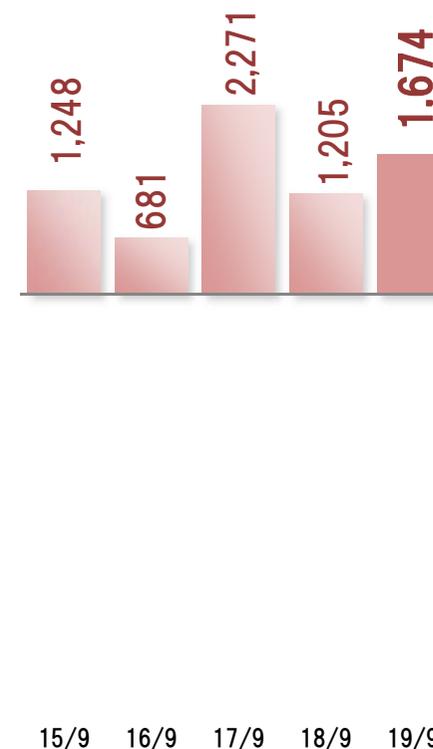
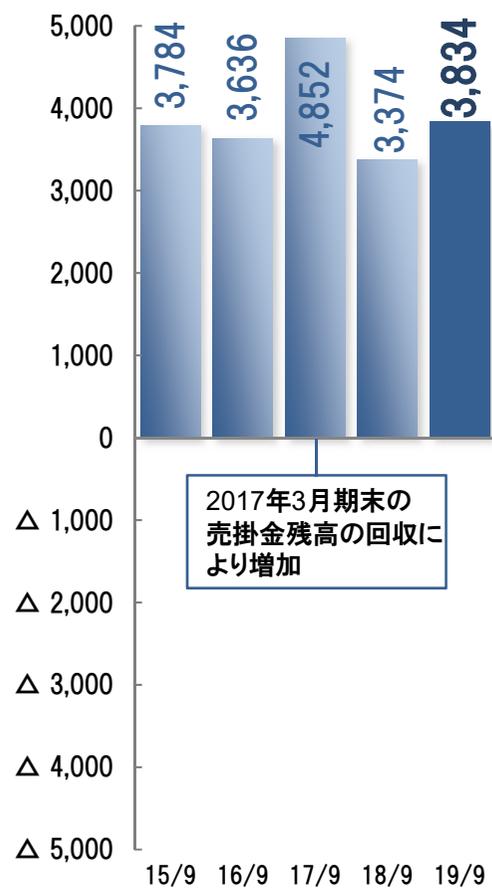
9支出減少

フリーCF

468収入増加

財務CF

1,599支出減少



フリーCF	1,674
財務CF	Δ1,082
換算差額	Δ 34
現預金増加	557
期首現預金	12,240
期末現預金	12,797



2. 2020年3月期 通期業績予想

1) 通期業績予想
(4月26日公表値から変更なし)

2) 配当金

2-1) 通期業績予想

2020年3月期 通期業績予想について

現段階においては、概ね計画通りに進捗しており、当社グループの売上高及び利益が第4四半期に集中する傾向にある為、2019年4月26日に公表した通期業績予想から変更なし

前期比【増収増益(前期レベル)】(2019年4月26日公表)

- オートモーティブ事業(ADAS関連)の減収の影響はあるものの、プロダクト事業及び公共ソリューション事業のストック型ビジネスの伸張、IoT事業のソリューションビジネスの拡大
- 生産性向上・業務効率化等により、前期と同規模の利益を確保
(親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に発生した「のれんの減損損失」の反動により増加)

(金額単位:百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	63,747	63,800	52	0.1
営業費用	57,923	57,900	△23	△0.0
営業利益	5,824	5,900	75	1.3
営業利益率	9.1%	9.2%	0.1pt	
経常利益	6,200	6,300	99	1.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,206	4,000	793	24.7

2-2) 配当金

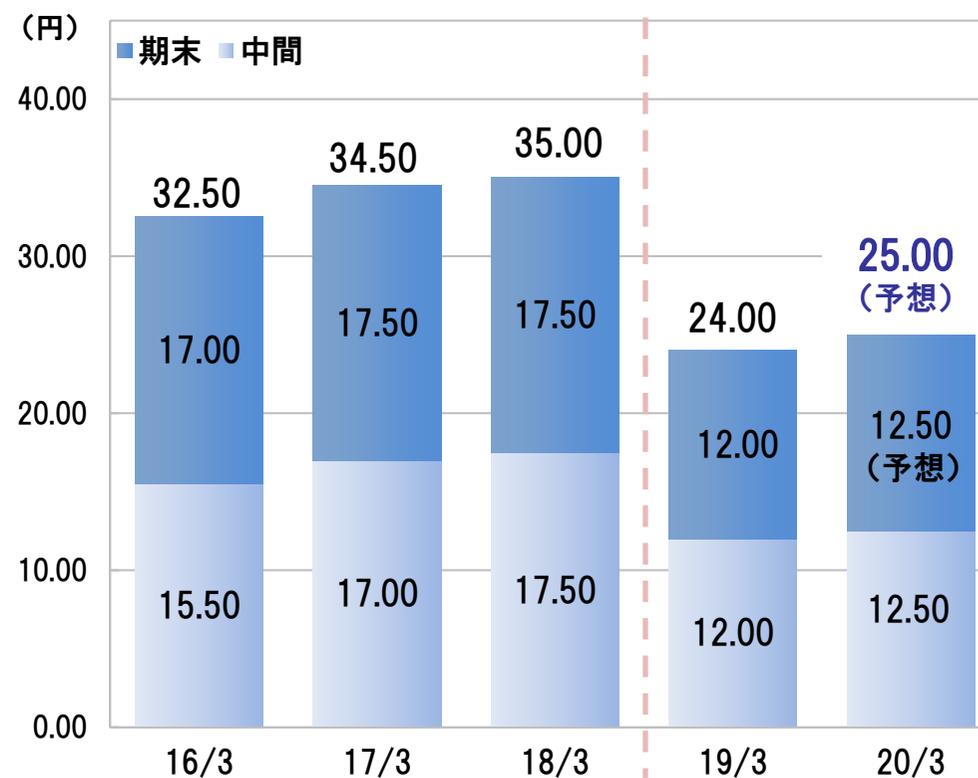
基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2020年3月期配当金 (カッコ内は株式分割前基準)※	
中間	12円50銭 (18円75銭)
期末(予想)	12円50銭 (18円75銭)
年間(予想)	25円00銭 (37円50銭)

※2018年4月1日付けで、株式分割(1:1.5)を実施

～ DOE3%以上を維持 ～



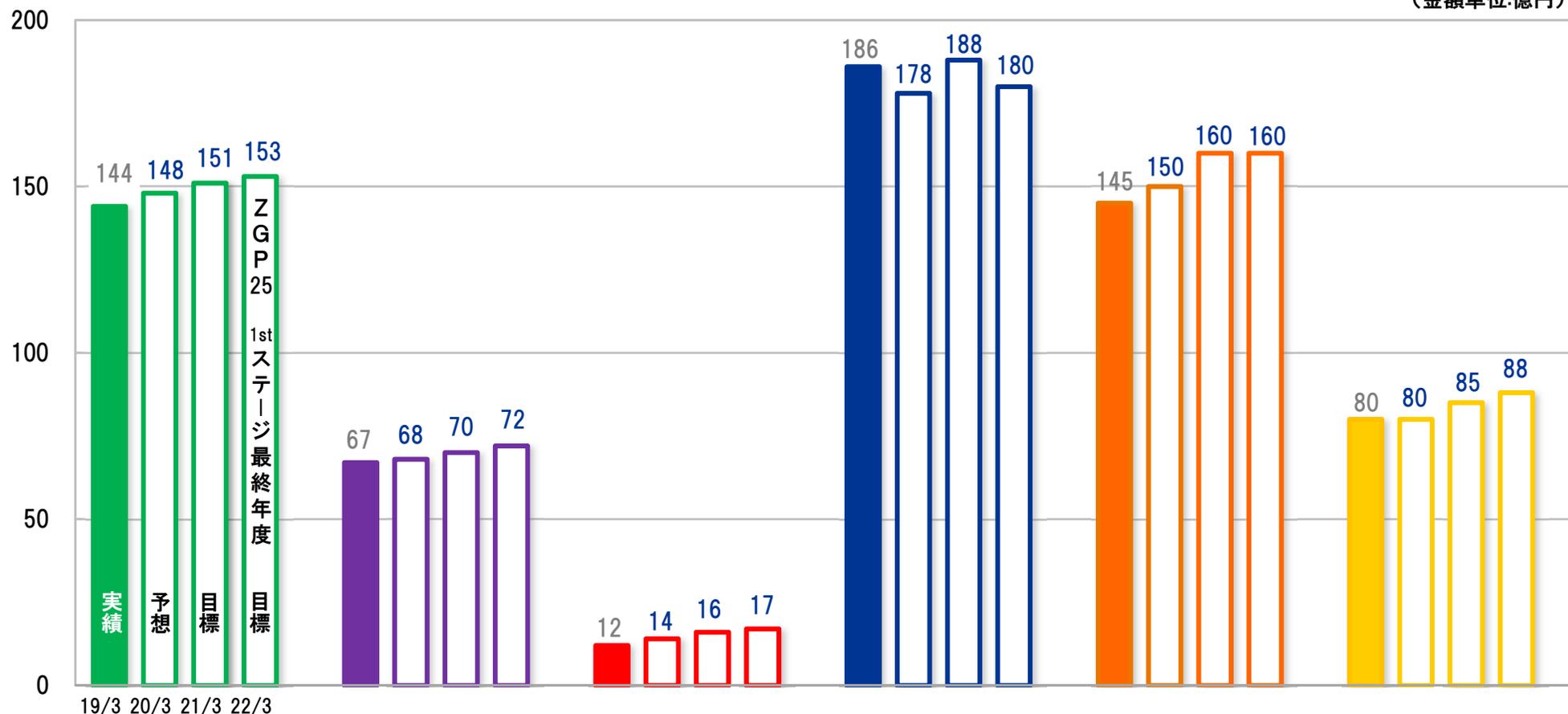
2018/4/1
株式分割

3. 事業概況

- 1) 事業別売上高（実績とZGP25 1stステージ目標数値）
- 2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

3-1) 事業別売上高 (実績とZGP25 1stステージ目標数値)

(金額単位:億円)



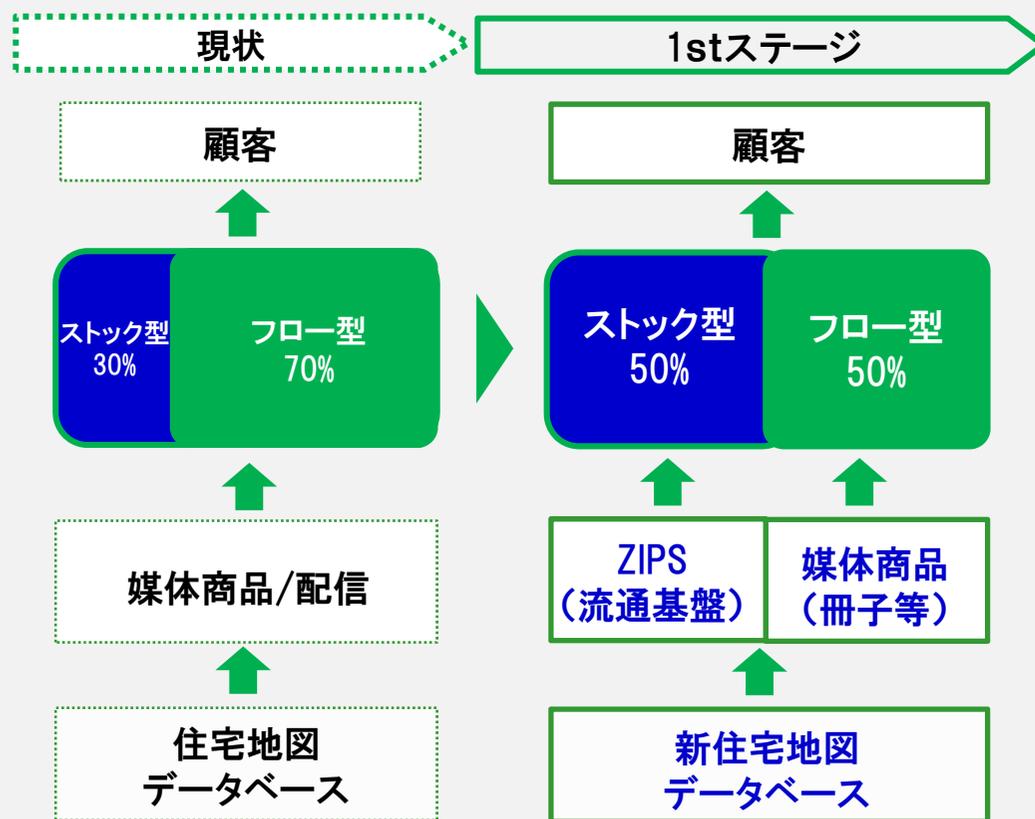
19/3	製品	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
↓	+3 (+2.2%)	+0 (+0.0%)	+1 (+16.5%)	△8 (△4.5%)	+4 (+2.7%)	△0 (△0.3%)
20/3						

3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

プロダクト事業

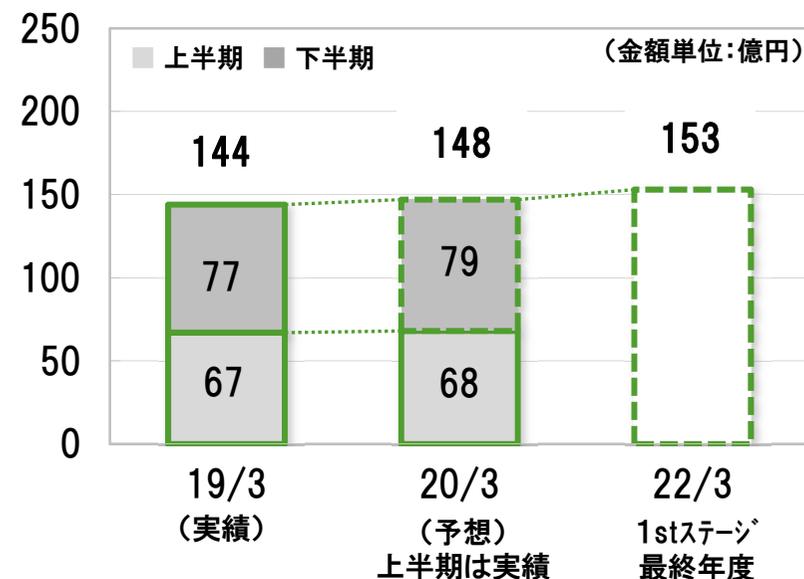
ライセンスビジネスの伸張によりストック型売上比率を50%に拡大

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ



■第2四半期進捗
住宅地図データ配信、GISパッケージ等の
売上が堅調に推移

■Topic
「GISパッケージ不動産プレミアム」に
『過去地図機能』追加。不動産業務をより効率化

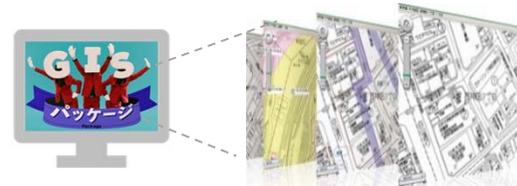


業務に必要な様々な情報をワンストップで提供！ 中小事業者の業務の効率化をサポート

例えば不動産業者様の
物件調査業務は…



「GISパッケージ不動産」なら、業務に必要な
最新の地図データを24時間いつでも利用可能
クラウド型サービスで面倒なインストールや設定も不要！



(搭載コンテンツ)
住宅地図、ブルーマップ、
用途地図、地価公示、
地価調査、相続税路線価、
固定資産税路線価

月額10,000円～
※税別、1都道府県1ID単位

+

(機能)
検索、計測、描画、印刷、
衛星画像確認機能等

【ZENRIN GISパッケージ シリーズ】

※価格は税別、1都道府県1ID単位

GISパッケージ 不動産	プレミアム	情報収集から営業まで 業務全体をサポート	月額 20,000円～
	ライト	不動産賃貸仲介業務の接客時に 必要な情報・機能を提供	月額 2,980円～
GISパッケージ建設		建設業に携わる方々の 帳票作成をサポート	月額 10,000円～
GISパッケージ不動産鑑定士		不動産評価や コンサルティング業務の負担軽減	
GISパッケージ税理士		相続税申告業務にかかる 様々な手間を解決	

ストック型ビジネスで安定収益基盤に成長



3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

公共ソリューション事業

自治体の地図プラットフォームとして住宅地図利用が1,000自治体に拡大

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ

現状

1stステージ



600自治体

パートナー企業との
連携による提供

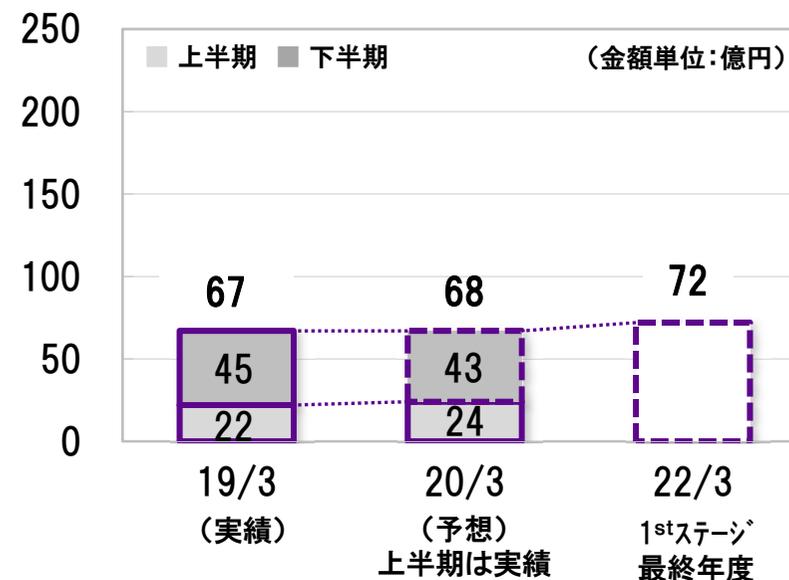


1,000自治体

自治体専用ネットワー
ク環境で利用可能な
「ゼンリン住宅地図
LGWAN」の利用拡大

■ 第2四半期進捗
住宅地図データの販売が堅調
引き続き、LGWANの利用拡大を推進

■ Topic
「令和元年 防災功労者防災担当大臣表彰」を受賞
被災地の迅速な復旧・復興に貢献

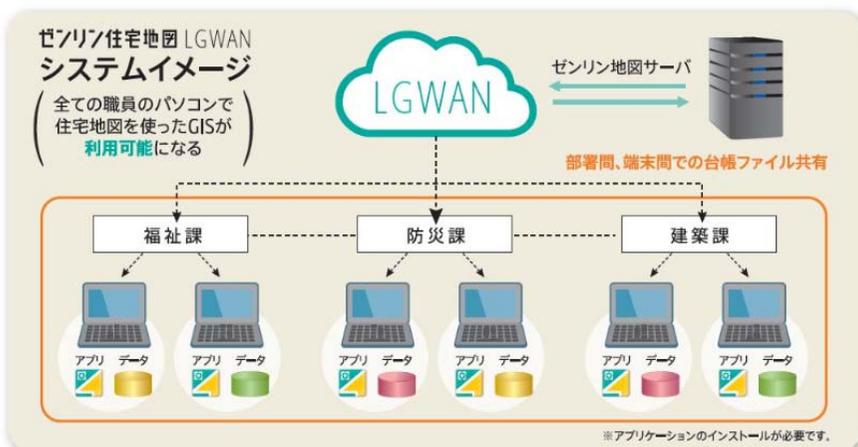


自治体業務における住宅地図の活用をより効果的に！ LGWANで豊富な機能を提供

「ゼンリン住宅地図 LGWAN」は、ゼンリンが長年蓄積した地方公共団体における地図提供ノウハウをもとに開発した LGWAN(行政機関専用のネットワーク)対応のクラウド型住宅地図サービス (2018年4月リリース)

【豊富な機能をパッケージとして、LGWANで提供】

コンテンツ : 住宅地図、道路地図、市街地図、広域地図
+
基本機能 : 検索、印刷、建物別記表記



人口規模3万未満の市町村
年額120,000円～

※税別、基本機能のみ

【ゼンリン住宅地図LGWAN 防災パック】

業務
パック

災害対応など、危機管理部門における業務に必要な機能をパック化

基本機能 + 台帳管理、shapefile取り込み、大判印刷、
エリア集計、土砂災害警戒判定メッシュ情報表示、UTMグリッド



【エリア集計】

指定した台帳の中の図形や、描画したポリゴンの中にある世帯数を自動でカウント



【土砂災害警戒判定メッシュ情報表示】

気象庁から配信される「土砂災害警戒判定メッシュ」情報を地図上に重畳。(5km メッシュ)
※事前の条件設定により、メッシュに重なった時点でアラートやメールでお知らせ



【UTM グリッド表示】

UTM グリッド線(「UTM 座標系」によるグリッド線)を地図上に重畳。災害対応時における、自衛隊との情報交換を効率化

3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

マップデザイン事業

具体的ターゲットと地図デザイン商品でコンシューマー市場の立ち上げ

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ

現状

商品・チャンネルが限定的



matimatiシリーズ



自治体向け企画地図



公式ライセンス商品

1stステージ

商品企画・アライアンス強化による市場創造

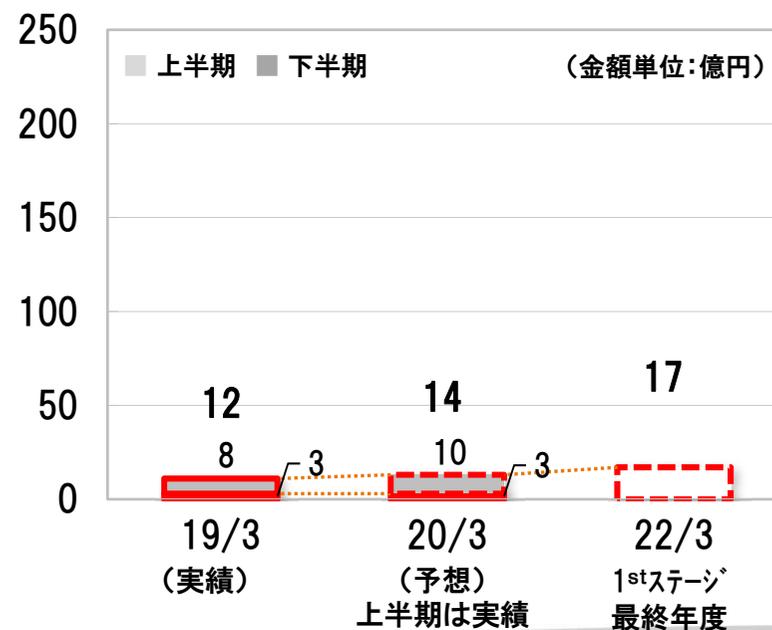
商品企画・チャンネル開発により
国内市場・インバウンド市場を確立

生産性改善により
利益向上

ZGP25 1stステージ期間中の
大型イベントでの
市場創造・売上拡大

■第2四半期進捗
ほぼ前期並みで推移

■Topic
大型イベントでの公式ライセンス商品販売

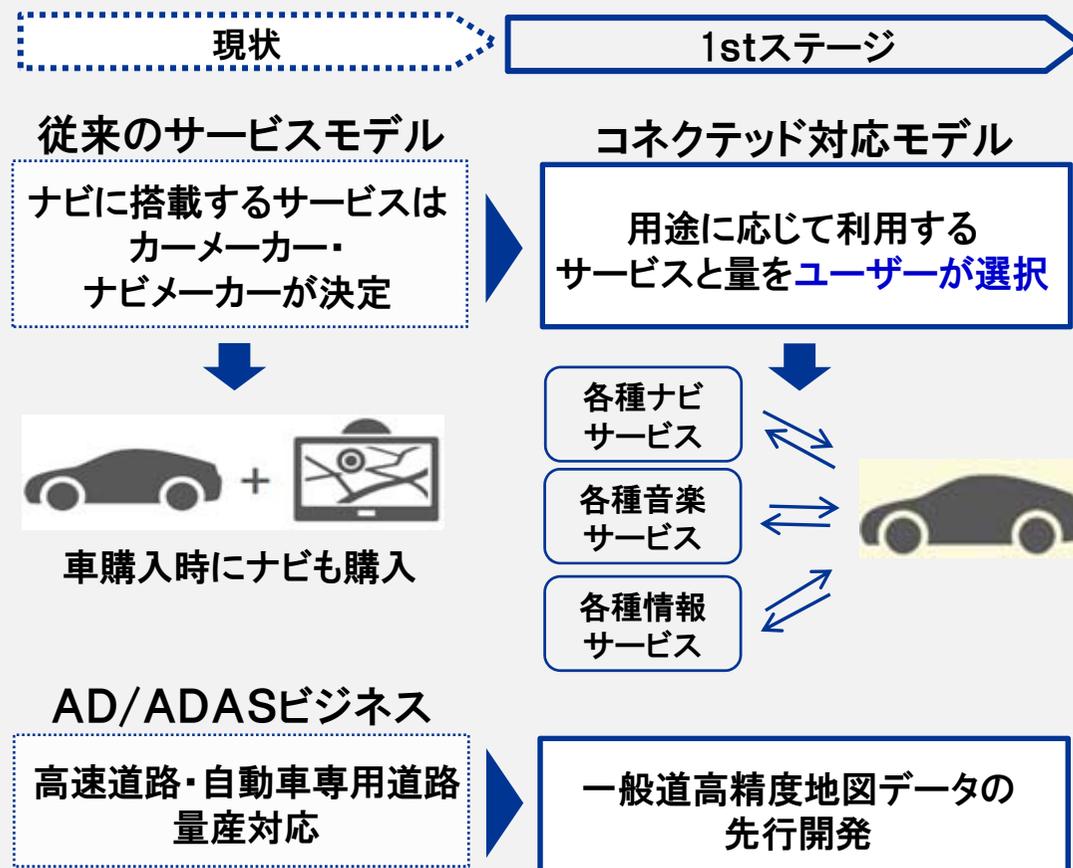


3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

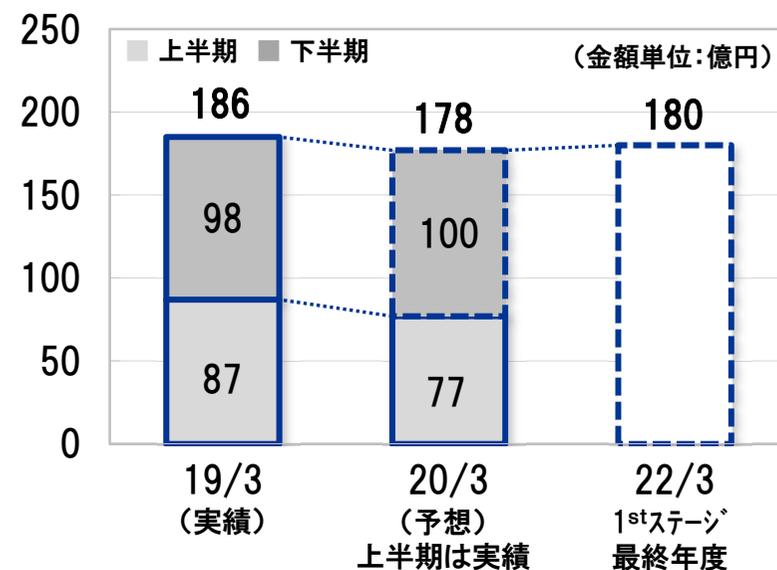
オートモーティブ事業

当社サービスモデルの採用による新たな安定収益基盤を創造

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ



- 第2四半期進捗
国内カーナビ向けデータ販売は堅調に推移
- Topic
3D高精度地図データが日産の「ProPILOT2.0」に採用



3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

IoT事業

位置情報が利用される新規プラットフォームでのシェア拡大

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ

現状

1stステージ

提供価値

- 機械やAIが参照する位置情報基盤へ進化
- 様々な情報を紐付ける空間情報プラットフォームを提供

特定企業への地図データ提供によるフロー型ビジネス

ビジネスモデル

ZIPS(流通基盤)を活用し、時空間データベースやIoTソリューションを提供するストック型ビジネスモデルを創造

提供先

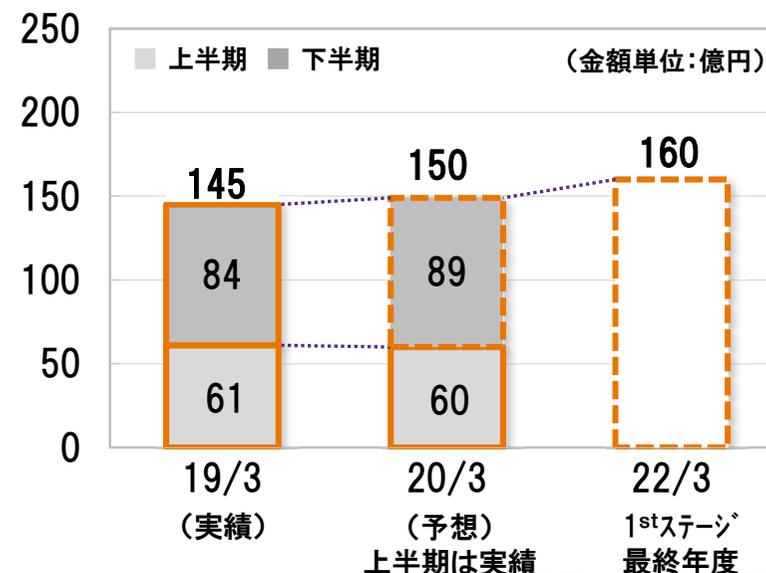
- ・各業界トップ企業
- ・MaaSベンダー・交通事業者
- ・IoTサービス事業者
- ・ドローンサービス事業者

■第2四半期進捗

- ・スマホ向けサービスの有料会員数減少
- ・MaaSビジネス分野におけるタクシー配車向けソリューション強化

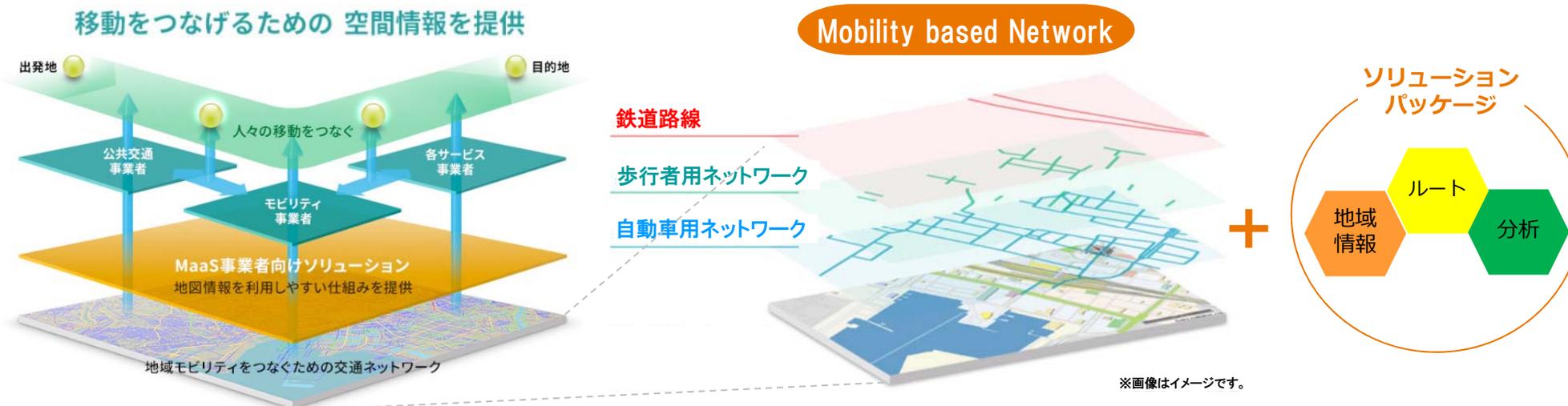
■Topic

- ・DiDiモビリティジャパンと当社グループが業務提携
- ・みんなのタクシーと当社グループが業務・資本提携



MaaSを実現する空間データベース「Mobility based Network」

地図上で「移動」を可視化し、空間情報として様々な事業者を提供することで、人々の「移動」をつなぐ



1つの空間上であらゆるモビリティを可視化できるゼンリンの「Mobility based Network」。自動車用ネットワーク、鉄道路線、駅構内通路、歩行者用ネットワークなど、移動に必要なあらゆるネットワークを組み込み、各ネットワークが交通結節点(各種の交通手段が結節する場所)で接続することにより、MaaSに最適な情報提供を実現。

Mobility Based Networkと3つのソリューション機能(地域情報のデジタル化ツール、最適ルートの提供、ビッグデータ分析)をMaaSオペレーターに提供し、あらたなモビリティサービスを創出。

3次交通としてラストワンマイルを担う重要なモビリティであるタクシー業界との提携

IT化が進むタクシー業界において、利便性・快適性を向上させる次世代タクシー配車アプリに注目が集まる



【タクシー配車システム】



3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

マーケティングソリューション事業

マーケティング支援市場に新サービス投入

ZGP25 1stステージ ゴールイメージ

時空間情報とグループのノウハウ
(コンサルティング、デザイン、印刷など)のシナジー
により顧客に価値を提供

プラットフォーム

コンサルティング

プロモーション

オペレーション

プランニング

クリエイティブ

オペレーション

分析

戦略
策定

プロモーション
企画

編集
デザイン

メディア
制作

メディア
展開・運用

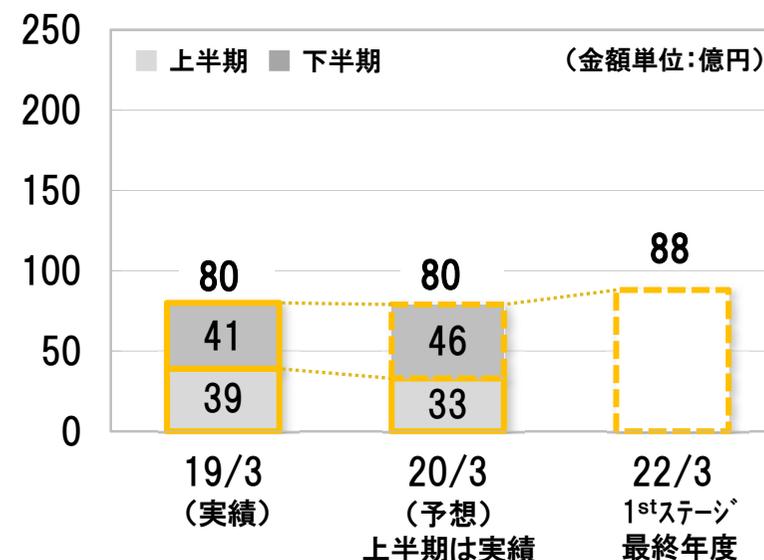
GISを活用した商圈
分析、出店計画案、
販促企画など

チラシやツールの
デザイン・印刷

DM発送、折込
ポスティングなど

■第2四半期進捗
ダイレクトメールサービスの受注減少

■Topic
マーケティングソリューションの
パッケージサービスを展開予定



3-2) ZGP25 事業戦略（重点施策と進捗）

小売り・サービス業における販促業務の各種課題を解決し、わかりやすく効果的なサービスを提供

全国140万件ある小売り・サービス業向けに、地図データとマーケティングコンテンツを活用した販促パッケージサービス

【販促支援パッケージ(イメージ)】

顧客管理

- ・地図閲覧・検索（住宅地図・道路地図）
- ・顧客台帳取り込み

販促エリア選定

- ・町丁目毎の世帯数を表示
- ・世帯数に対する顧客数の割合を表示
- ・エリアを絞り込みチラシ印刷配布見積表示
- ・販促予算にあわせた絞り込みエリアの見積表示
- ・住宅地図建物属性別の販促ターゲット選定（戸建て・分譲マンション・賃貸マンションなど）

販促メディア作成

- ・簡単にチラシを作成
- ・チラシに自店舗地図を自動作成

配布エリア管理

- ・配布エリアの地図を出力



顧客台帳から顧客数割合を地図上に表示

店名	住所	顧客数	割合
1. 小田原	東京都世田谷区小田原1-4	100	100%
2. 大塚	東京都世田谷区大塚1-1	50	50%
3. 大塚	東京都世田谷区大塚2-1	50	50%
4. 大塚	東京都世田谷区大塚3-1	50	50%
5. 大塚	東京都世田谷区大塚4-1	50	50%



新規獲得したいエリアの世帯数を表示



世帯数合計
33,151



世帯数合計
10,899

追加サービス

販促エリア選定後、チラシデザイン制作・印刷、新聞折り込み・ポスティング・DM発送にも対応

4. Appendix

1) 2020年3月期 第2四半期決算概要

セグメント情報

設備投資額、減価償却費、研究開発費

四半期売上高構成比 推移

2) 2020年3月期 通期業績予想(2019年3月期 決算説明会資料より)

売上高・利益の推移

設備投資額、減価償却費、研究開発費

中長期経営計画(ZGP25) 目標数値

3) 事業トピック

4-1) 第2四半期決算概要 (セグメント情報)

2020年3月期 第2四半期決算説明会

売上構成
比率

82.8%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳及び応用地図の製造・販売
住宅地図データベース及びカーナビ用データの製造・販売
インターネットサービス向け地図データの製造・販売
スマートフォン向けサービスの提供



6.8%

2. 一般印刷関連事業

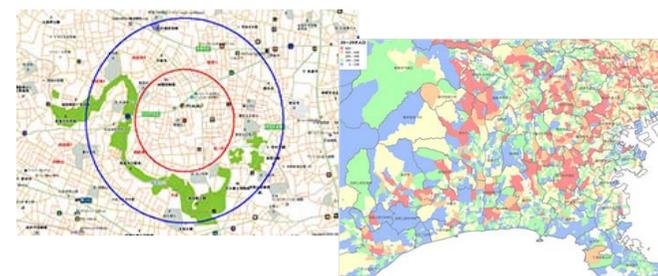
主要品目等：一般印刷物の製造・販売



10.4%

3. その他

主要品目等：マーケティングソリューションの提供
仕入商品の販売



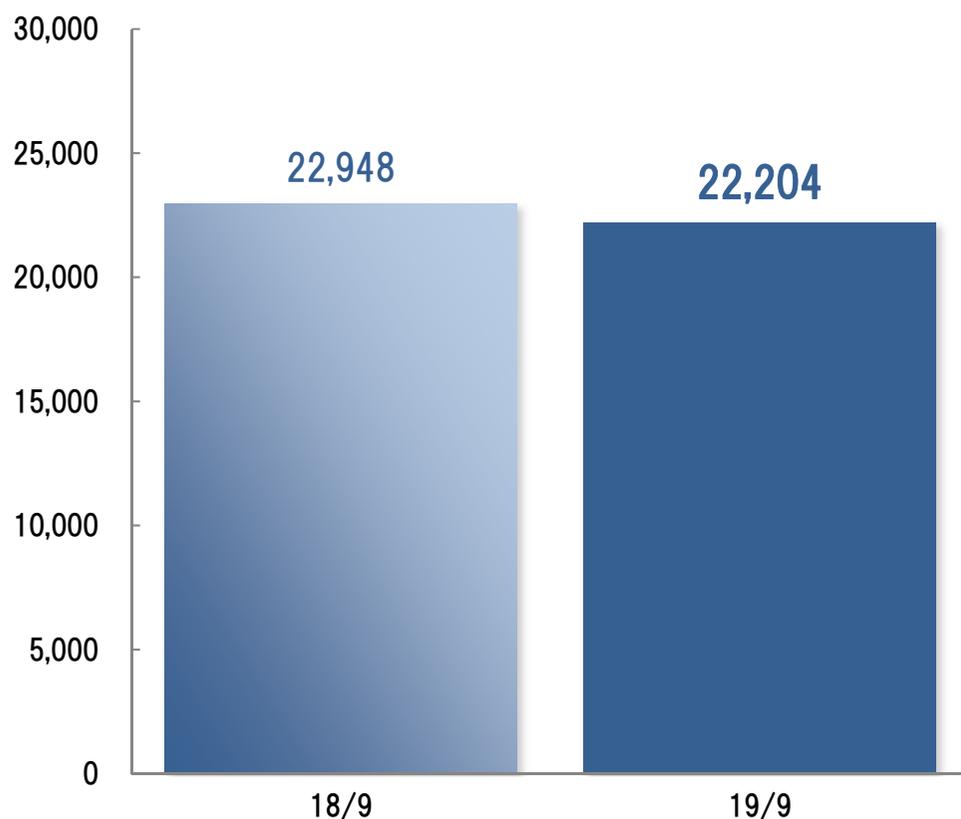
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

4-1) 第2四半期決算概要 (セグメント情報: 地図データベース関連事業)

売上高

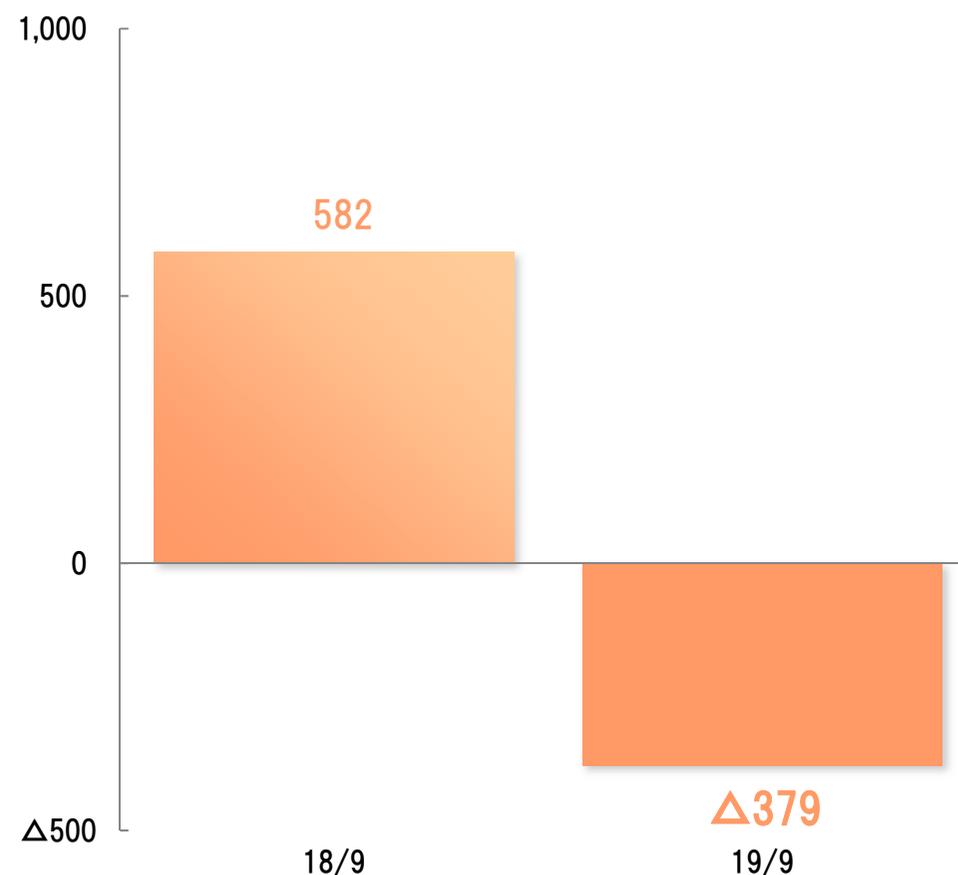
前年同期比

744減少 (△3.2%)



営業利益

962 悪化 (-)



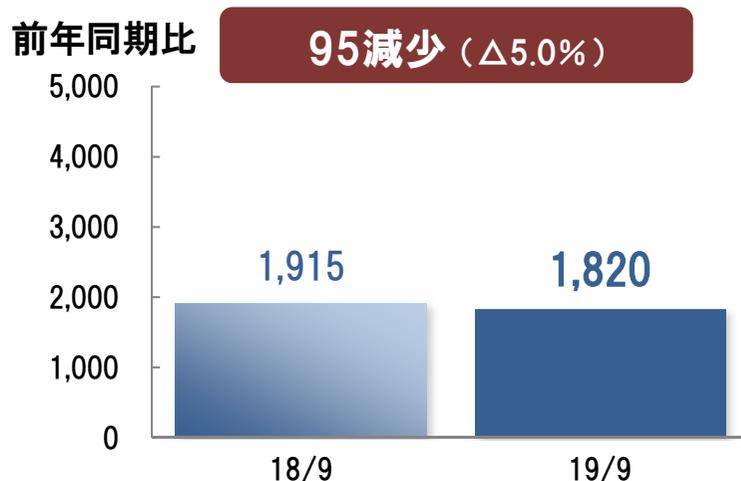
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

前年同期比較については、地図データベース関連事業、其他事業の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。

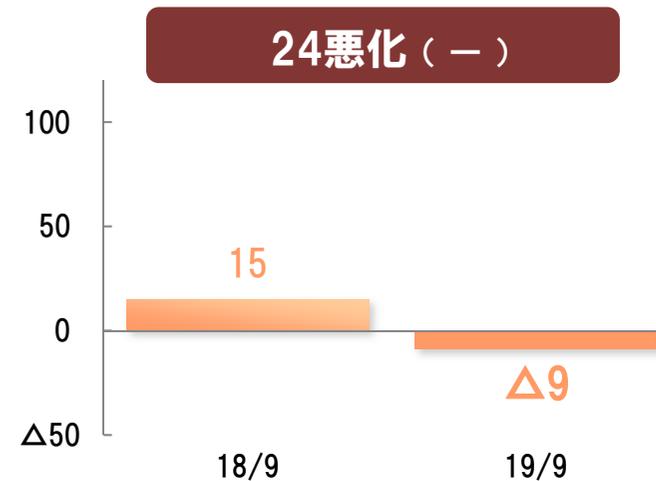
4-1) 第2四半期決算概要 (セグメント情報: 一般印刷関連事業・その他)

一般印刷関連事業

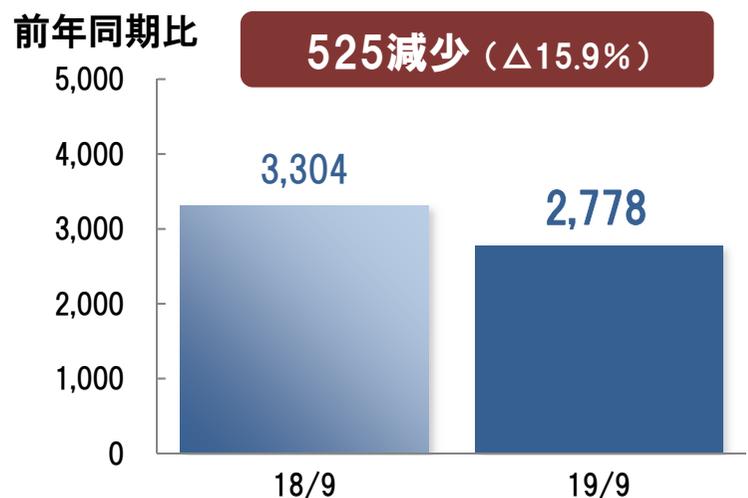
売上高



営業利益

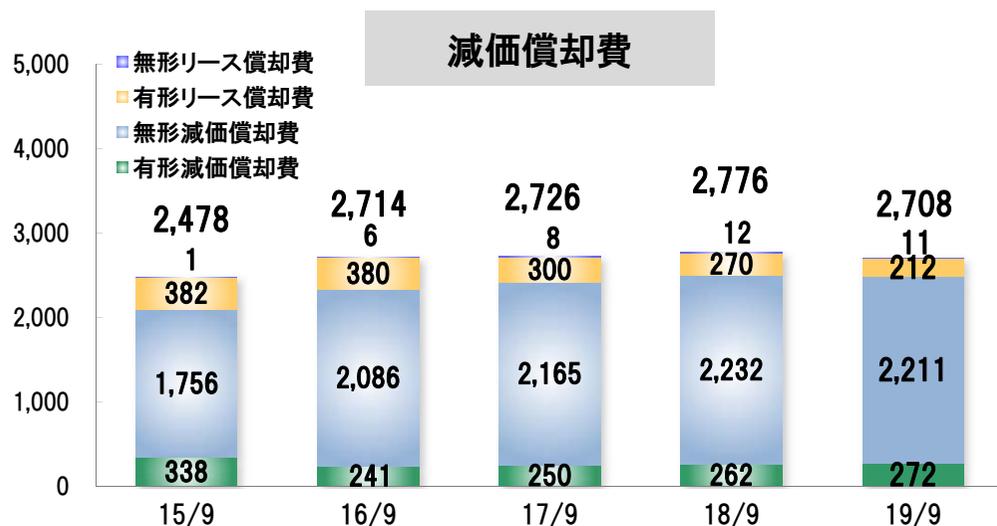
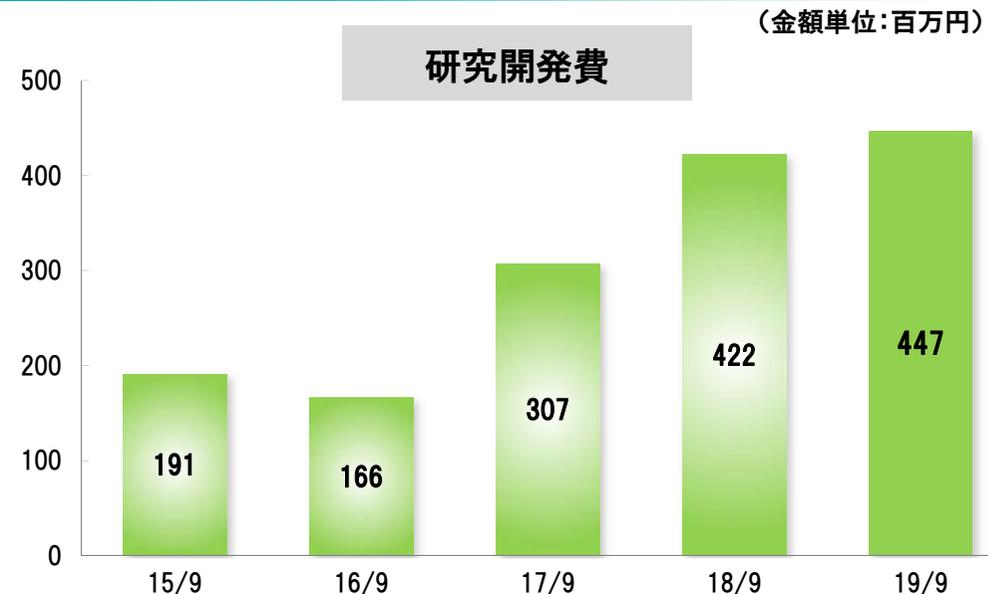
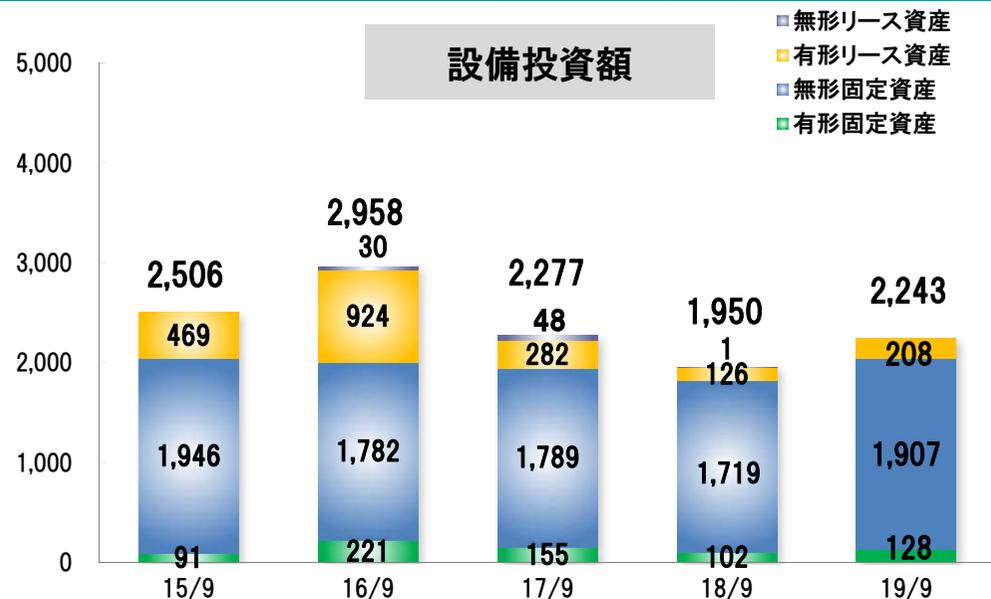


その他

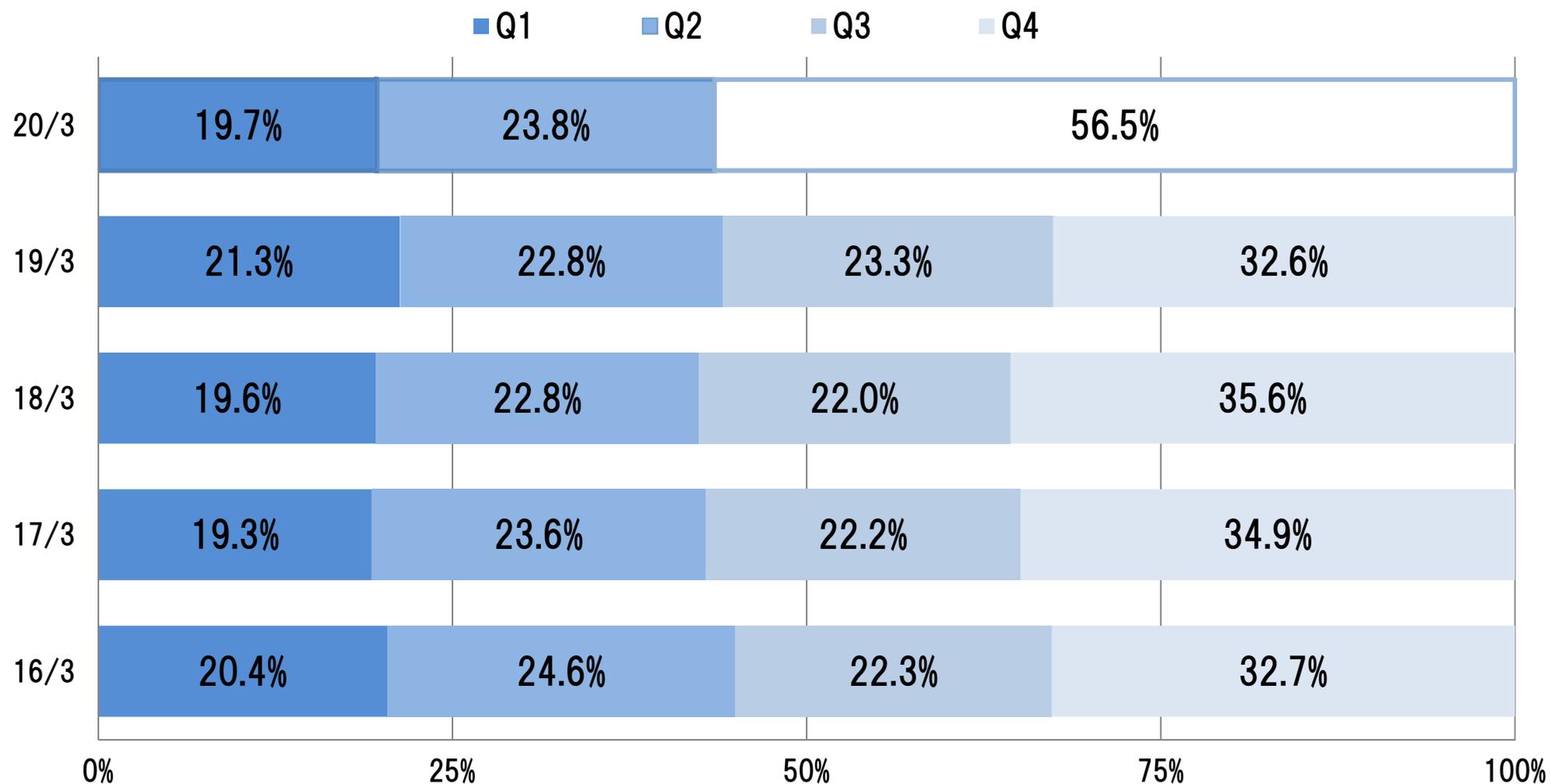


※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。
前年同期比較については、地図データベース関連事業、その他事業の前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しています。

4-1) 第2四半期決算概要 (設備投資額、減価償却費、研究開発費)

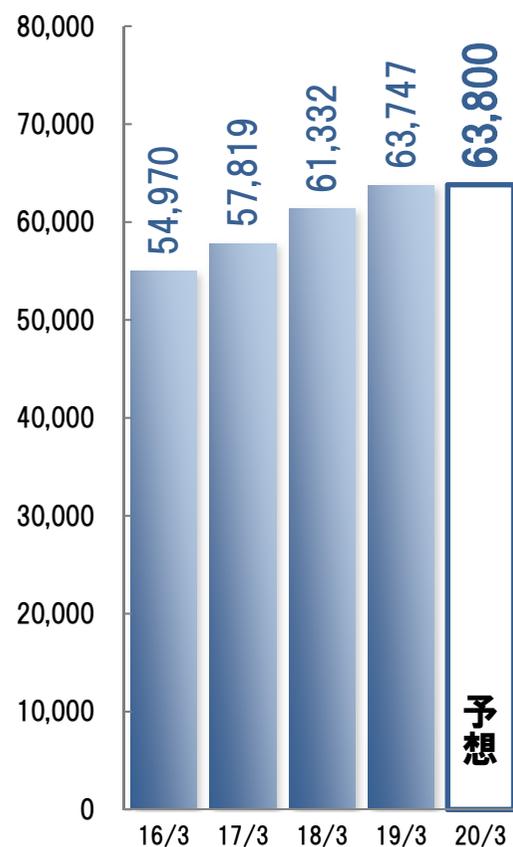


4-1) 第2四半期決算概要 (四半期売上高構成比 推移)



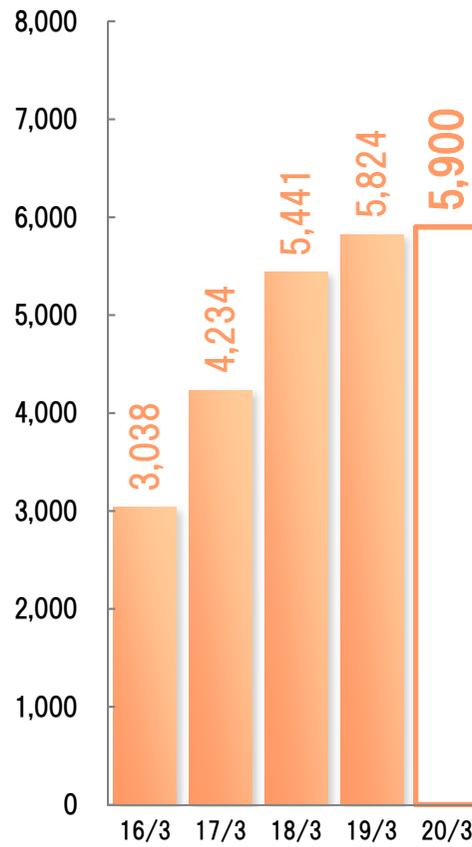
4-2) 通期業績予想 (売上高・利益の推移)

売上高



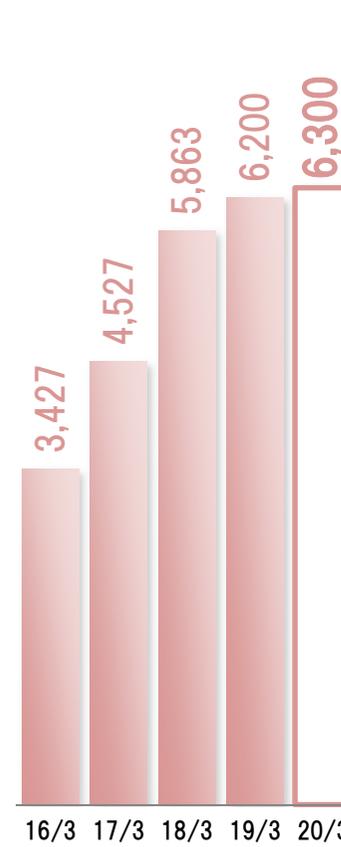
5期連続増収/過去最高

営業利益



5期連続増益

経常利益



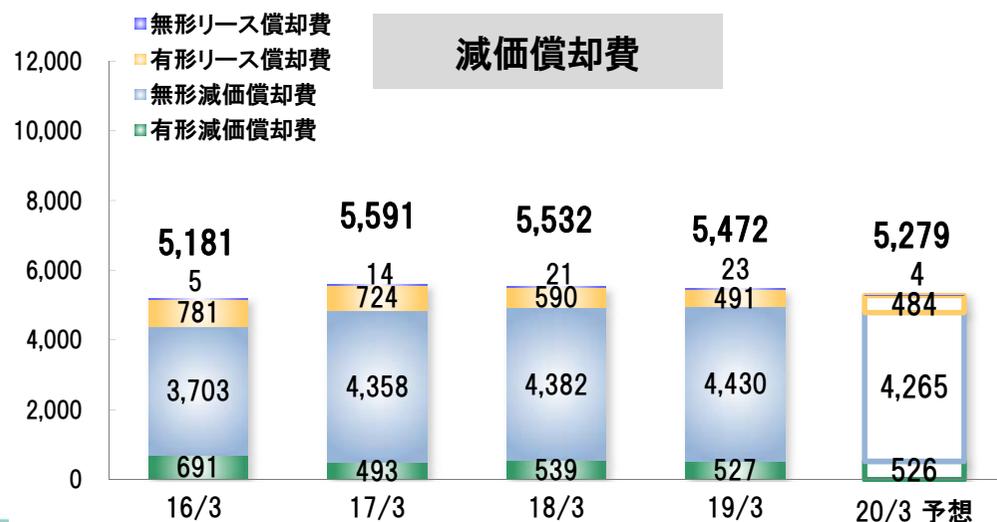
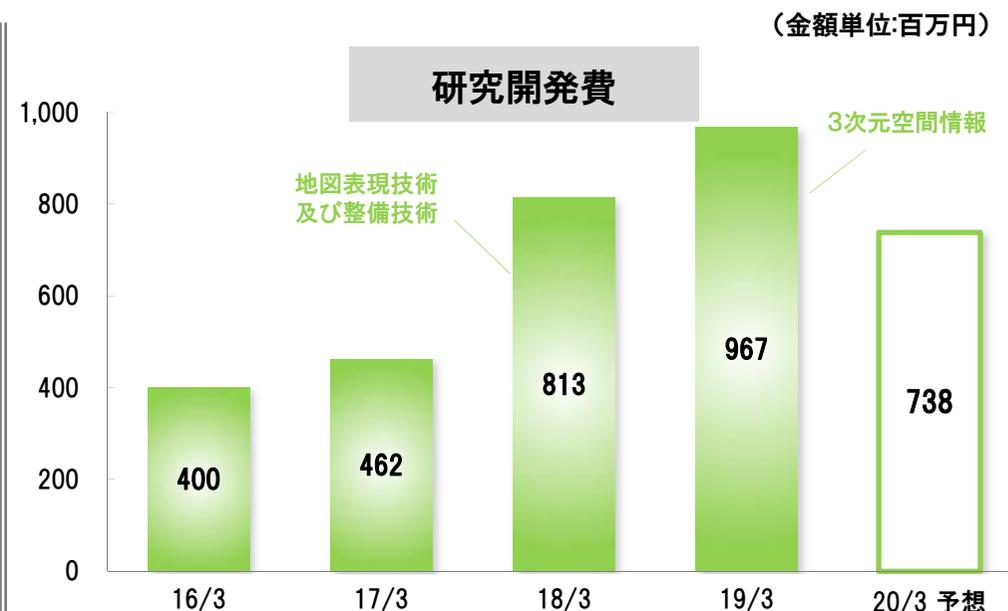
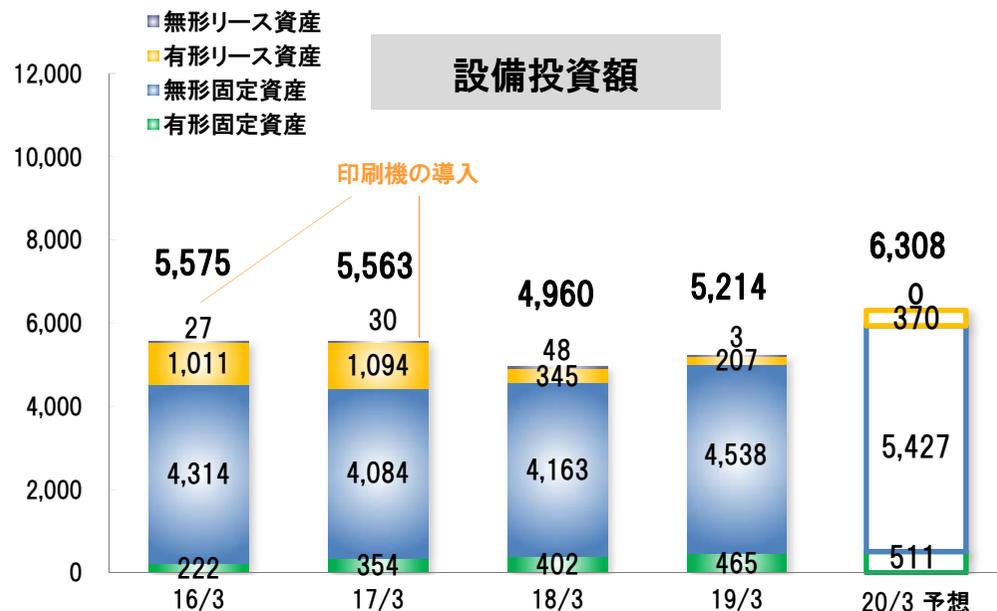
5期連続増益

親会社株主に帰属 する当期純利益



2期ぶり増益

4-2) 通期業績予想(設備投資額・減価償却費・研究開発費)



4-2) 中長期経営計画(ZGP25) 目標数値

	1st ステージ			2nd ステージ 6年目
	1年目	2年目	3年目	
	2020年3月期 予想	2021年3月期 目標	2022年3月期 目標	2025年3月期 指標
連結売上高	638億円	670億円	670億円	800億円
連結営業利益 (利益率)	59億円 (9.2%)	63億円 (9.4%)	67億円 (10.0%)	100億円 (12.5%)
ROE (自己資本当期純利益率)	9.7%	9.7%	9.7%	10%以上
DOE (株主資本配当率)	3.0%以上	3.0%以上	3.0%以上	3%以上

4-3)事業トピック（当社グループの主なニュースリリース・お知らせ）

リリース日	タイトル
4月10日	「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」を開始
4月18日	ゼンリンの詳細地図、経度緯度変換、統計データをワンストップで提供する「Tableauマップソリューション」をリリース（ZDC/ZGI）
4月25日	スマートフォンやモバイルに関するあらゆるソリューション・サービスの日本最大級の専門展モバイル活用展 2019に出展（ZDC）
5月17日	ゼンリンの「3D高精度地図データ」が日産自動車の世界初 インテリジェント高速道路ルート走行(3D高精度地図データ搭載)「ProPILOT 2.0」に採用
5月28日	新型「キャデラック CT6」の車載ナビゲーションシステムにゼンリンデータコムナビゲーションアプリが採用（ZDC）
5月28日	Smart Cityを支える「つなぐ」を実現 カーシェアプラットフォーム「Will-MoBi」を10月にリリース（WST）
5月29日	ゼンリン住宅地図で配達員の荷物管理をサポートする配達業務効率化サービス「配達アプリ」が、IT導入補助金対象サービスに登録（ZDC）
6月11日	ゼンリンデータコムとライナロジクスが、宅配物流事業の課題を解決する『モビリティプラットフォーム』を展開（ZDC）
6月12日	TOFセンサによる屋内位置測位と画像認識技術を用いた「接客行動の可視化・分析」の実証実験を実施（ZDC）
6月14日	『JAPAN MAP 19』メディア版発売
6月20日	『地図作りで発見！まちたんけんキット』発売
6月26日	ゼンリンデータコム・JR九州・西鉄・福岡市交通局が『歩きスマホ防止キャンペーン』を実施（ZDC）
6月28日	同一空域・複数ドローン事業者のための運航管理システムのAPI仕様書を公開
7月1日	株式会社リースシステム企画の株式取得(子会社化)（ZDC）
7月17日	AIの信頼性に関する技術開発事業で新たに8件のテーマを採択（NEDOよりプレスリリース https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101155.html ）
7月19日	Mapbox社がゼンリンの地図データを採用
7月19日	自治体向け道路附属物維持管理システムを開発、日光市と実証試験を実施（ZDC）

※詳細は当社ホームページをご覧ください(<https://www.zenrin.co.jp/information/index.html>)

※ZDC:(株)ゼンリンデータコム ZGI:(株)ゼンリンジオインテリジェンス WST:(株)Will Smart

4-3)事業トピック（当社グループの主なニュースリリース・お知らせ）

リリース日	タイトル
7月30日	スマートフォンのWi-Fi信号から利用した国・地域の判定を行いタブレットへの言語出し分けを行う「インフォメーショントイレ」の実証実験を開始（ZDC）
8月2日	CCIが提供するサービスにおいて、ゼンリングroupが保有するデータを基にAIを活用した分析基盤を用いたネット広告配信の提供を開始（ZDC）
8月26日	大型スポーツイベント公式ライセンス商品「試合会場図」をはじめとした地図デザイングッズを発売！
9月10日	「令和元年 防災功労者防災担当大臣表彰」を受賞
9月18日	「第3回[関西]スマートビルディングEXPO」、「建設テック2019」に出展。地図データによる建設業・不動産業の業務効率化ソリューションを紹介（10月9日～11日）
9月24日	「ZENRIN GISパッケージ 不動産 プレミアム」に『過去地図機能』が追加！
9月25日	ゼンリングroupが、タクシー配車サービス事業を手掛けるDiDiモビリティジャパンと業務提携
10月9日	「第60回国際ナショナル プレミアム・インセンティブショー」に初出展！ 見て楽しいオリジナル地図柄グッズを紹介（10月16日～18日）
10月15日	「第26回 ITS 世界会議シンガポール2019」に出展。「移動の可視化」を可能にするMaaS向けソリューションを紹介（10月21日～25日）
10月16日	「ぼうさいこくたい(防災推進国民大会)2019」に出展。地図を活用した災害対策事例を紹介（10月19日～20日）
10月18日	「ゼンリンミュージアム」2020年4月オープン！
10月29日	カーシェアリングシステム「Will-MoBi(ウィルモビ)」をリリース(WST)
10月30日	一般のドローン事業者も参画したドローン運航管理システムの相互接続試験に成功
10月31日	AIカメラソリューションを提供するAWLと業務提携(WST)
11月5日	ゼンリンデータコムとみんなのタクシーが業務・資本提携(ZDC)

※詳細は当社ホームページをご覧ください(<https://www.zenrin.co.jp/information/index.html>)

※ZDC:(株)ゼンリンデータコム WST:(株)Will Smart

■ゼンリングループとDiDiモビリティジャパンが業務提携 (2019年9月25日)

当社、(株)ゼンリンデータコム、DiDiモビリティジャパン(株)(※1)は、日本市場における戦略的な事業拡充を見据えた業務提携を発表しました。この提携により、DiDiモビリティジャパンが提供するタクシー配車プラットフォームのドライバー用アプリ「DiDiドライバー」内で、ゼンリンデータコムのナビアプリ「Z-NAV」の利用が可能になりました。

DiDiモビリティジャパンと当社グループは戦略パートナーとして、MaaS事業領域のデータコンテンツの利活用を進めるとともに、両社のノウハウを生かしたソリューションの共同開発など、様々な検討を進めます。

※1: 中国の配車サービス大手、滴滴出行とソフトバンク(株)の合弁会社



DiDiモビリティジャパン菅野副社長と
ゼンリンデータコム清水社長

■ゼンリンデータコムとみんなのタクシーが業務・資本提携 (2019年11月5日)

(株)ゼンリンデータコムは、タクシー配車サービスなどを提供する、みんなのタクシー(株)(※2)と業務・資本提携を発表しました。ゼンリンデータコムが開発する業務車両向けナビアプリは、みんなのタクシーに参画するタクシー事業者の業務アプリとして利用されています。今後は、みんなのタクシーが車両などから収集する各種データと、ゼンリンデータコムが保有するデータを活用したサービスの構築や、データの利活用を目的とした研究開発などを推進し、将来的には両社の資産を合わせたMaaS事業領域での事業展開を目指します。

※2: タクシー事業者5社とソニー(株)及びソニーペイメントサービス(株)との合弁会社。タクシー配車サービス「S.RIDE」を提供

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp